

## 現状と課題

※【 】内は参考にしたデータ等

○感性を働かせ、他者と協働しながら音楽表現を生み出したり音楽を聴いてそのよさや価値等を考えたりするなどして、創造的に表現したり鑑賞したりする力を育成することが求められている。

- ・音楽を聴いて楽曲の特徴を捉え言葉で適切に表すことや、音楽表現に対する思いや意図をもち言葉で適切に表すことなど、思考力・判断力・表現力等の育成に一部課題がある。【平成24年度小学校学習指導要領実施状況調査(国立教育政策研究所)】
- ・言語活動がやや目的化し、音楽表現そのものを高めることや、音楽のよさ等を味わって聴くことが十分でない傾向が見られる。また、子供の工夫した表現や、音楽を聴いて感じ取ったこと等について、子供の学習の充実に資するよう、適切に価値付けたり具体的にアドバイスをしたりすることが十分でない傾向が見られる。【教育課程の編成・実施に関する聴取資料(小・中・高)】
- ・「音楽の授業では、みんなで協力し、学び合っていますか」「歌ったり楽器を演奏したり音楽をつくったりするときに、自分はこう表したいという願いや考えをもつようになっていますか」という質問に肯定的な回答をした児童は、否定的な回答をした児童よりも、表現領域の思考力・判断力・表現力に関わる記述問題の通過率が10ポイント以上高い。【平成24年度小学校学習指導要領実施状況調査】

○我が国や郷土の伝統音楽に親しみ、一層よさを味わえるようにしていくこと、生活や社会における音や音楽の働きや音楽文化についての関心や理解を深めていくことが求められている。

- ・世界各国の音楽の中から、我が国の音楽を聴き分けることについては、相当数の児童ができているが、我が国の音楽の様々な特徴をとらえて聴くことには課題がある。【平成24年度小学校学習指導要領実施状況調査】
- ・日本のうた(唱歌やわらべうた、民謡など)の指導について、興味・関心のもちやすさ、身に付けやすさのいずれにおいても、学年が上がるにつれて肯定的に回答した教師の割合が減少し、第6学年の教師における肯定的な回答は5割以下だった。(興味・関心をもちやすい:第2学年78.8%、第4学年67.5%、第6学年46.0%、身に付けやすい:第2学年80.5%、第4学年67.5%、第6学年49.5%)【平成24年度小学校学習指導要領実施状況調査】
- ・「音楽の学習が好きだ」という質問に68.1%の児童が肯定的に回答したのに対し、「音楽を学習すれば、普段の生活や社会に出て役立つ」という質問に肯定的に回答した児童は、47.7%だった。【平成24年度小学校学習指導要領実施状況調査】
- ・音楽文化についての理解を深める学習については、教師が知識を教えることにとどまり、生徒が実感を伴って音楽文化の意味や価値を理解するまでには至っていない現状が見受けられる。【高等学校教育課程研究指定校の取組等より】

# 豊かな情操の育成を目指した小・中・高等学校修了時の児童生徒の姿 ～音楽科、芸術科（音楽）で育成すべき資質・能力～（検討のたたき台）

## 高等学校

### 【芸術科（音楽Ⅲ）】

### 【芸術科（音楽Ⅱ）】

### 【芸術科（音楽Ⅰ）】※

○豊かな感性や生涯にわたり音楽を愛好する心情が育っている。

○創造的な表現と鑑賞の能力を働かせて、豊かに表現したり鑑賞したりすることができる。

例えば・・・・音楽を形づくっている要素を知覚・感受し、根拠をもって音楽表現を生み出したり、音楽を聴いてそのよさや価値などについて批評するなどして味わって聴いたりすることができる。

・他者と協働して新たな価値を創造することができる。

など

○生活や社会の中の音や音楽の働きや音楽文化について、深く理解し尊重するとともに、音楽文化の担い手としての意識をもっている。

例えば・・・・生活や社会との関わりにおいて、TPOに応じた心地よい音環境を求める意識をもっている。

・音楽が、伝統や文化などの影響を受けて生み出されてきた意味や価値を理解することができる。

・音楽活動を通して、多様な音楽文化についての意味や価値を理解することができる。

など

※Ⅰを付した科目のうち、1科目を共通必修修科目とする。

## 中学校

### 【音楽科】

○豊かな感性や音楽を愛好する心情が育っている。

○音楽活動の基礎的な能力を働かせて、豊かに表現したり鑑賞したりすることができる。

例えば・・・・音楽を形づくっている要素の知覚と感受の関連を図り、音楽のよさや美しさなどについて自分の考えをもちながら、音楽表現を工夫したり、自分にとっての価値を明らかにして味わって聴いたりすることができる。

・他者と音や言葉による交流を通して考えを広げたり深めたりして、自分にとっての新たな価値を創造することができる。

など

○生活の中の音や音楽の働きや、音楽文化について理解し、尊重している。

例えば・・・・身の回りの音や音楽に関心を持ち、音環境に対する意識をもっている。

・我が国や郷土の伝統音楽を含む、世界の様々な音楽それぞれがもつよさや美しさを味わい、音楽の多様性を理解することができる。

・我が国で長く歌い継がれている歌曲のよさを感じ取りながら歌うことができる。

など

## 小学校

### 【音楽科】

○感性や音楽を愛好する心情が育っている。

○音楽活動の基礎的な能力を働かせて、表現したり鑑賞したりすることができる。

例えば・・・・音楽を形づくっている要素を聴き取り感じ取りながら、こう表したいという思いや意図をもって表現したり、楽曲や演奏のよさを考え、味わって聴いたりすることができる。

・音や言葉によるコミュニケーションを図りながら、自分にとって価値のある創造的な音楽活動をすることができる。

など

○生活の中の音や音楽や、我が国や諸外国の音楽に親しみ、それらを大切にしている。

例えば・・・・生活の中の様々な音や音楽の特徴に気付くことができる。

・我が国や郷土の音楽及び諸外国の音楽など、いろいろな種類の音楽に関心を持ち、そのよさを味わうことができる。

・世代や地域を超えて親しまれている日本のうたに親しみ、曲にふさわしい歌い方で歌うことができる。

など

## 幼児教育

（教育課程部会幼児教育部会において、芸術ワーキンググループでの議論を踏まえ、幼児期に育みたい資質・能力、幼児期の終わりまでに育ってほしい姿の明確化について審議）

・生活の中で美しいものや心を動かす出来事に触れ、イメージを豊かにもちながら、楽しく表現する。

・生活や遊びを通して感じたことや考えたことなどを音や動きなどで表現したり、自由にかいたり、つくったり、演じて遊んだりする。

・友達同士で互いに表現し合うことで、様々な表現の面白さに気付いたり、友達と一緒に表現する過程を楽しんだりする。